



短期・長期留学説明会

この1年で予定されている留学・海外研修プログラムの内容説明や申込方法を説明します。特に1年生で留学や海外研修に興味のある生徒は参加して下さい。



日時：4月17日(月) 17:00~

場所：視聴覚教室 *筆記用具持!!

くるみさんのポルトガルレポート

こんにちは！ポルトガルから3月の出来事をお伝えします☺

3月は色々なことがありました！3つに絞ってお話します！

まず一つ目がポルトガル語の授業で、約半年間の留学生生活をまとめて21期の造倉あかりさんに手紙を送るという設定でクラスみんなの前でお話させてもらいました。そもそも彼女に送った理由は一番近い友達ということもありますが彼女も今年からスペイン語を勉強するというので方言レベルの違いであるポルトガル語に触れるのも面白いなと思ったからです。まだまだ私のポルトガル語レベルは低いものではありますが、語源が近いフランス語の文章を読んだりしてもなんとなく意味が分かる場合があります。今まで外国語といえば英語一択だった私にとってラテン語にこの半年触れて他の言語も少しずつ理解できるようになってきたのはすごく自分の可能性が広がった気がして嬉しいです。

二つ目が経済での授業のことです。ポルトガルは三学期制で一学期につき2回大きなテストがあり、高2と高3の終わり(6~7月頃)に国家試験があります。国家試験というすごく大変そうな気がしますがセンター試験レベルです。本題に入りますが、3月の中旬に経済のテストがあり、私は9月から教科書を見てならテスト受けていいと言われていたのですがいつも通り受けていたのですがテストが終わってからクラスメイトたちが”あれはテストじゃなくて試験だ！””もう一度テスト受けさせてもらおう！”と言い出し、泣き始める子もいて正直びっくりしました。というのもそのテストでは教科書に乗っていることだけでなくポルトガル国内を例にして状況を説明するものだったり、今までは○×問題だったのが四択になっていたり、私はテスト中、先生が学年末の最終試験に合わせてきたんだなとか思っていました。ところがクラスメイトは違った捉え方をしていたようで本当驚きました。日本なら絶対ありえないことですがテスト後の授業で生徒たちが先生に猛抗議して潰れてるくらいでした。



三つ目はアメリカに留学するポルトガルの高校生の子たちと関わったことです。私はその子達のオリエンテーションに参加するために住んでいる場所から一人で行きは電車帰りはバスで自分で切符を買って行きました。これだけでもかなり自立して自分でもポルトガル語力のアップも感じる事ができました。実際にオリエンテーションでは日本で受けたオリエンテーションよりかなりラフな雰囲気でしたがすごくレベルの高い話を聞くことができました。例えば同性愛カップルにホストファミリーが決まったらどうするかと言うものです。これは日本のオリエンでも話を聞いたことのある内容です。現在ポルトガルではLGBTに対する理解のための講演会などが多く催されていて実際私の学校でもありました。私のクラスメイトたちは全然受け入れていないようで公演中に誰かの噂話をしたり笑って馬鹿にしている子達が目立っていたので、ポルトガルの高校生にはまだ受け入れがたいことなんだなと思っていましたがここで出会った子たちは違いました。

話がまとまらなくなってきましたが、ここで出会った子たちは私と同じように国際交流をしたい、一人でも多くの外国人とつながりたいという思いを持っていて、たった2日の短い間で私が感じたカルチャーショックだったり言語習得の方法だったり、逆に彼女たちが留学したい理由だったり、たくさんの情報交換をすることができとてもいい機会になったと思っています。この経験から言えることが一つあります。それは同じ目的を持った集団の中で生きていくことはとても楽しく充実していると思います。けれど今私の置かれている環境は周りにホスト以外日本に興味を持っている人もまた国際交流に興味がある人もほぼいません。正直辛いことばかりです。けれどそんな環境だからこそ日本について紹介して興味を持ってくれたときや私の成長を認めてくれたときは非常に嬉しいです。これからもこの厳しい環境に感謝し残り二ヶ月頑張りしたいと思います。まだまだ言いたいことがあります。ここまでにしておきます！ Tchou!